

学校教育委員会報告



第8回 学校交流会を開催して

榎原 弘之*

Hiroyuki Narahara

河田 直樹**

Naoki Kawada

2024年9月7日(土)13時~17時にかけて、学校教育委員会行事として、8回目となる完全オンライン形式での学校交流会が、九州工業大学をホスト校として開催された。

参加者総数は、27名(内訳:教員等学校関係者6校より8名、企業関係者4社1団体より7名、学生2校より12名)であった。2024年3月開催の前回に比べれば増加傾向にあるが、1年前の第6回と同数の参加であった。大きな差は企業関係者と学生の参加数にあり、3月は年度末であることと、学生が卒業間近にある状態なので、なかなか参加を促すのが難しい状況にあることを示唆している。

今回の交流会も審査表彰部会の協力により、夏の交流会の特徴として定着した学生賞受賞者(またはその指導教員)による研究発表と、卒業研究や大学院の研究について中間発表(研究計画としての報告を含む)を行った。

学生賞は1件で、受賞者が同じ大学の大学院に進学したこともあって学生本人による発表が実現できたことは貴重な機会となった。聴講していた多くの学生の研究の参考と励みになったことと思う。

なお、審査表彰部会からは部会長の出席が難しいとのことで、代理で吉澤正孝氏が出席された。

これまでの夏の交流会と同様に中間発表は9月の初旬の時点ではまだ研究が本格的に進んでいないという状況も多く見られることから、研究計画として発表するテーマ5件と、大学院への進学や大学院の2年目に位置付けられている学生の中間報告3件として発表するテーマに分けたプログラムとした。

今回発表された研究テーマは、機械工学分野が中心であったが、微細加工、IoT、ロボット、モビリティ、FMEA(故障モード影響解析)、バーチャルエンジニアリングなどテーマに広がりを見せていた。

全体のプログラムは以下の通りである。

<交流会プログラム>

1. 開会の挨拶

学校教育委員会 委員長 九州工業大学 榎原弘之
2. 2023年度品質工学会学生賞受賞研究の記念発表
司会 埼玉工業大学 河田直樹
審査表彰部会長挨拶 審査表彰部会部会長代理 吉澤正孝

「金属 Additive Manufacturing におけるサポート形状最適化のひずみエネルギー評価に基づく研究」
九州工業大学大学院 情報工学府 知的システム工学部門 博士前期1年 佐藤凜太郎(指導教員 榎原弘之)

3. 学生による卒業研究中間発表

司会 各指導教員(リレー方式)

3-1 研究計画報告

3-1-1 「着座姿勢への変形機構を可能にする二足歩行型モビリティの脚部機構の最適化の研究」
埼玉工業大学大学院 機械工学専攻 修士1年 首藤海斗(河田研究室)

3-1-2 「ナノ結晶軟磁性薄帯を用いたモータコア成形のための試料のレーザ切断特性ならびに連続切断装置の改良」
九州工業大学 情報工学部 知的システム工学科4

年 島津郁弥(榎原・是澤研究室)

3-1-3 「品質工学を用いたバーチャルエンジニアリ

*九州工業大学

**埼玉工業大学